

## 第2次石垣市観光基本計画（素案）に関するパブリックコメント実施結果

### 1 パブリックコメント手続の概要

実施期間：令和4年2月7日（月）から令和4年2月25日（金）まで

閲覧方法（場所）：石垣市ホームページ、石垣市役所観光文化課、市政情報センター、石垣市立図書館、石垣市健康福祉センター

意見提出方法：電子メール、FAX、郵送、各閲覧場所設置意見箱への投函

### 2 実施結果

#### (1) 意見の提出状況

意見提出人数：7名

意見件数：19件

#### (2) 意見及び市の考え方

NO	提出者	パブコメ 頁	項目	意見（提出者の意図を尊重し、原文を掲載）	市の考え方（回答）
1	A	31	基本方針①：温暖化対策、脱炭素へ向けた取り組み	<p>&lt;基本施策&gt;「多角的な脱炭素等の取り組みの促進」の具体的内容が不明ですが、地球的課題である地球温暖化には『ごみ問題』も大きく影響しています。『ごみの削減』の取り組みも加えていただきたい。市民や観光客の使い捨てプラスチックをはじめとするゴミの削減の取り組みをお願いします。例えば、石垣市がMMO石垣島（マイボトルで水おかわり）に協力して給水場（安全に飲める水）を市内各所へ設置し、誰もがマイボトルで簡単に水の補充が出来て、ペットボトルのゴミが減る仕組み作り。また、「愛媛県のように蛇口からみかんジュースが出てくる」ということを真似て、パインジュースやシークワサージュースが出てくる給水場を設置し、そこではマイボトルやマイカップのみで利用する事が出来る様にして、脱使い捨てと石垣島のアピールが両方できるかと思えます。店舗や企業への使い捨てプラスチック（短時間使用してすぐに捨ててしまうプラスチック）や使い捨ての消費行動からの脱却を促し、消費システムを石垣島から変える取り組みをお願いしたいです。店舗や企業への使い捨てプラスチック（短時間使用してすぐに捨ててしまうプラスチック）使い捨て（紙等も含め）からの脱却を促し、消費システムを石垣島から変える取り組みをお願いしたいです。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>使い捨てプラスチック等のごみの削減については、施策「2）多角的な脱炭素等の取り組みの促進」、 「19）SDGsへの多角的な対応の促進」により、本計画において設置される「（仮称）観光まちづくり協議会」や「（仮称）観光事業者ネットワーク」において、検討いたします。</p> <p>なお、本計画において「主な具体的施策」として掲載している事項は、主なものとしての位置づけであり、それ以外のものは行わないというものではありません。</p>

2	A	41	基本方針①：温暖化対策、脱炭素へ向けた取り組み	P41にある「石垣島サスティナブルマップ（仮）の作成」このマップにMMO石垣島の紹介や給水場の場所、使い捨てプラスチックを使わずに利用することが出来る店舗を掲載し、地球に優しい行動が出来る場所を載せてください。本気で石垣島から自然環境を守る発信をすることが「将来ビジョン」 「持続可能でより良い社会を求めて世界中の人々がつながるまち ～石垣島の未来は地球の未来～」となり、世界の人々から選ばれる場所となると思います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 主な具体的施策については、個別事業の記載は避け、主な施策としてまとめることにしました。当該マップの作成については、実施に向け検討いたします。
3	A	32	(2)基本目標を達成するための基本方針基本方針②	基本方針②：都市機能向上のための開発と自然資源、生活環境との共存→『都市機能向上と自然資源、生活環境との共存』に変更希望。観光まちづくりの理念「世界が認める優れた自然文化的価値を有する場所」として未来永劫にわたり地球上に存在し続けることに責任を持って関わり・・・とあるように自然環境を守るまちづくりの考え方として「開発」ありきの文言は入れるべきではない。国際空港は2022年3月にリニューアルオープン、クルーズバースへのアクセスとなる臨港道路、CIQ 機能を備えた旅客ターミナルビルの整備が現在進められ、市街地から空港までの道路も整備が進められていることから、これ以上むやみに都市機能向上を謳った開発は避けるべきだと考えます。『都市機能向上』のみとした理由は現状を維持しながら、より良い方法で自然環境を守り機能向上を模索するという事です。なるべく開発は避けなければ、未来永劫に自然文化価値は残せない。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 ご意見を踏まえ、基本方針②を次のとおり修正します。 「都市機能向上のための開発と自然資源、生活環境との共存」を「都市機能向上と自然資源、生活環境との共存」に修正します。
4	A	36	(3)基本施策<具体的施策>	石西礁湖や白保など優れたサンゴ礁の保全→『石西礁湖や白保など石垣島の優れたサンゴ礁の保全』サンゴ礁は全て優れたサンゴ礁です。石西礁や白保のサンゴ礁と限定せず、石垣島周辺のサンゴ礁を加えて守るべきです。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 ご意見を踏まえ、「石西礁湖や白保など優れたサンゴ礁の保全」を「優れたサンゴ礁の保全」に修正します。
5	B	2	1. 計画策定の意義	石垣島は便利な市街地と美しい海・山・川が至近に共存する県内にも2つと無い機能的な観光島ですが、県外者の多くは「八重山の玄関口」「港周辺に泊まって日帰りで離島に通うための拠点」との認識が強く、石垣島自体の魅力に気づかないまま島を後にします。 石垣島の持つポテンシャルは多くの観光客がドライブで一回りして終わるようなものではありません。竹富町の諸島に行かずとも離島に滞在する醍醐味を十分に堪能できるという面をもっとアピールすることで入域者数全体を押し上げることになると思っています。 (例えば自然豊かなハワイ島はマウイ島やオアフ島に行かずとも数日掛けてゆっくり観光できるように壮大で奥行きのある観光スポットが点在しています)	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 施策「10) 観光客の島内滞在時間の延伸」において、ご意見の趣旨を踏まえ、石垣島の魅力の更なる発信を通じて島内滞在時間の延伸に取り組んでまいります。

6	B	36	3)地域発展の源泉の保全 ・ 星空資源を持続的に活用するための取り組み	北部では常に新築住宅の工事が行われており、将来の星空資源の阻害要因となります。早い段階で遮光カーテンの利用促進や個人宅敷地内の屋外照明設置ガイドラインが必要かと思われます。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 施策「3) 地域発展の源泉の保全」の「星空資源の持続的な活用」において、対策を検討してまいります。
7	B	37	5)観光施設の適正な管理	石垣島内はドライブを主として観光しますが（今回のコロナ対策としての密になる懸念のない駐車場閉鎖やゴミ箱の撤去は百害あって実効性は一利もありませんでした）その割に駐車場が少なくトイレが無くて困ります。これらエッセンシャルな面での施設不足は「石垣島はさりとドライブして終わりで良い」との感想を旅行者に持たせる一因となっています。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 駐車場やトイレの不足については、関係課等とも情報共有し、調整してまいります。
8	B	37	6)新たな魅力の掘り起こし	石垣島内には未開発な景勝地や魅力的なフィールドがまだまだたくさんあります。これらの一部はSNSで紹介されていますが、案内板や駐車場やトイレ設備などは皆無です。 また、西表以外の他島にはない山は冬場の観光資源になるはずですが、これがほとんど活かされておらず残念でなりません。山の稜線を歩く3時間程度のトレッキングコースなどあれば良いです。 また、ヤエヤマヒメボタルの観察ポイントも島内各所に開発されるとGWを除く閑散期の来島者数を増やすことにつながるかも知れません。吹通川のマングローブ原生林は大きな観光資源です。この中に木道を整備して原生林の奥まで散策できるような状態になれば観光客の滞在時間が長くなるとともに満足度も格段に上がると考えます。 もちろんこれらの開発は自然破壊ではなく、自然を活かす範囲で行われるべきです。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 自然環境の保全を優先に、本計画で設置される「（仮称）観光まちづくり協議会」においても意見を伺い、検討してまいります。また、整備が可能か関係課・機関等とも検討してまいります。

9	C	32	基本方針②	<p>基本方針だけではありませんが、随所に「自然」重視と書かれており、基本方針2には「自然資源、生活環境との共存」と書かれておりますが、自然や環境に対する開発の規制がほとんどないように見受けられます。土地を購入し建築法上問題なければどこにでもホテルや観光施設を建設するのが現状です。この島の最も大きな優位点は間違いなく自然であり、その自然が損なわれれば、この島を観光で訪れる意義がなくなり、観光客に見向きもされなくなるのは明らかです。近年、観光拠点を沖縄本島から先島諸島に変えられるお客様が多く、一様に「本島は開発されすぎで都会と同じ。先島は自然と文化がまだ残っているので旅行し甲斐がある」とおっしゃられます。一度損なわれた自然を回復するには莫大な費用・労力と年月が必要となります。宿泊施設や観光施設の建設そのものに大反対ということではありませんが、その適正数を明確化し、無秩序に増えることは規制すべきです（空き家・空き部屋の民泊利用を含む）。また、開発可能な地域と手付かずの自然を残す地域をはっきりと分けるべきだと考えます（ゾーニング）。例えば、ANAホテルのある通りの植栽を南国らしくと整えリゾートホテル街とし、自然の色濃く残る白保より北部は自然保全地域として開発を規制する、といったこと。そのうえで、利益が限られた地域のみ還元されないような仕組みを作り上げればよいと考えます（それはそれほど難しくはないはずです）。今後コロナが落ち着いた後は、多くの利権者が利益を求めて、最後の楽園の一つである石垣島に押し寄せる可能性は低くはありません。今まで中国その他海外の土地買い占めなどが起こっていなかったことは、むしろ奇跡と考えるべきです。最大の観光資源であり、脆くもある自然を保全することが、今後の持続的な観光振興に必ず結びつくと考えます。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>ご意見のとおり、本市の最大の観光資源は自然であると認識しており、本計画においても自然を地域発展の源泉と位置づけています。開発に関する新たな規制についての可否は、関係部署とも連携し、検討してまいります。</p>
10	C	32	基本方針①	<p>基本施策の「円滑なモビリティ導入」に関し、現在の公共バスは空港・街間以外は本数が少なく、観光客はレンタカーで動かざるを得ません。近年は運転免許を取得しない若者も増えており、また週末しか運転しない人や交通規則の異なる海外に住む人の運転での事故の多発は問題であり、観光地への交通機関を充実させる必要があります。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>これからの旅行を牽引する世代（10代後半から30代）は、運転免許を持っていないやレンタカーの利用に抵抗があるとする割合が高いという調査レポートがあります。これからの旅行牽引世代を取り込むためには、新たな交通体系の構築は重要な課題と考えます。路線バスを利用した観光について、路線や本数の拡充の可否を関係事業者等と調整検討してまいります。</p>

11	D			<p>石垣市健康福祉センターまつりで闘山羊を開催する。センター内に駐車場もあるし野外にトイレもある。芝生の広場でオリで囲んで闘山羊をする。市街地にあって立地もいい。施設内に厨房があり山羊汁を食べながら闘山羊を見る。山羊汁は石垣島うみそら牧場さんのやぎスープをこしらえてもらう。山羊農家を回り立派な角の雄山羊をスカウトする。山羊を食肉にするのではなく一匹のファイターとして扱う。闘山羊の迫力を撮影しユーチューブで国内外へ発信しDVDで販売してもいい。闘山羊の雄山羊の動物プロダクションを作ってもいい。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。 闘山羊が観光コンテンツとして実施可能かも含め今後の検討とさせていただきます。施策「6）地域特性を活かした新たな魅力の掘り起こし」において、食文化として山羊の広報宣伝等を検討してまいります。</p>
12	E			<p>八重山の豊かさってなんだろう？！ 観光ってその土地に暮らす人々が煌めいていることではないだろうか？！ 本当に道の駅はいるのかな…確かに石垣島は他の島にも訪れる拠点でもあるから、滞在は短いかもしれない…けれど、1日2日で廻れるからこそ、ここに暮らしココで営みを展開する人々と豊かな交遊が生まれるんじゃないだろうか。直接触れ合って買い物することの愉しみや露店でみえないけれど作ってくれた人に感謝できること、ハルサーや海人を体感することも観光になるのではないだろうか… 子どもたちとアーティストがつくる遊べちゃうよーなトイレ、自然の循環を体感できるコビットハウスのような空間、森の中で静かに力強く楽しく過ごせるよーな場所、地元の親子も一緒に過ごせる雨降りでも大丈夫な施設や誰でも自由に採取OKな森?!今在る豊かさこれから育ちゆき生まれゆく子どもたちへめぐる豊かさが溢れるあいらんどであーれ! 日焼け止めやゴミ（先人たちのアイディアのカケラ）の課題も大事に考えられたらな。この土地にいきとしいけるすべてのいのちが飲む愛ディアが巡りますように。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。 自然との共生、市民生活の向上を基本に、観光施策を展開してまいります。観光立市であることに誇りを感じる市民が増えるよう取り組んでまいります。</p>
13	F			<p>第1次石垣市観光基本計画の成果と課題を提示してほしい。その上で、第2次基本計画の指標とするところ、指針を示していく論議を積み上げてほしいと願います。 パブリックコメントを募集する日程が迫ってきて、未完成の素案をまとめるのにご苦労したことと思いますが、本計画に持って行くには、素案をしっかりと市民へ提示しなければ、市民をはじめ石垣島、八重山を愛する人々の期待に応えられるとは思えません。この島に10年、20年、そして50年先を見通した計画にしてほしいと願い、敢えて厳しいコメントを提起します。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。 第1次石垣市観光基本計画の成果と課題については、計画素案の第1章において示しております。パブリックコメントにおいて達成目標の章をご提示できず申し訳ございません。</p>

14	F			<p>この島のどのような魅力を「観光」資源ととらえて、この島に生活する人々が不断に努めていける課題を、真っ先に提示していくべきだと思います。</p> <p>コロナ禍で、島外からの来客を当てにして閉塞していた状況を、総括して島に住む生活者を軸にした「島人観光」を指標にすべきものと思います。</p> <p>なぜ竹富島や西表島など素朴な島々が、観光資源として高い評価を得られるのか、薄利多売の観光ツアー頼みでは、世上の危機に対応できないという総括が足りないように感じます。今回の世界的なコロナ禍による観光危機といわれた状況で、これまでの誘客観光のあり方を根本的に見直す必要があると思います。そのような議論を尽くして欲しいと願います。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>本市の観光資源につきましては、第1章で示しております。本計画においては、施策「12) 観光産業強靱化の推進」で「薄利多売型」から「高品質高収益型」への構造転換を図ってまいります。また、誘客のあり方については、本計画で設置される「(仮称) 観光まちづくり協議会」等においても検討してまいります。</p>
15	F			<p>素案としては、資料等も不十分な提示で、パブリックコメントを求めること自体、市民の意見を求める姿勢としてお粗末です。</p> <p>「観光産業」は「総合産業」といわれて常識になっているものと思っていました。八重山商工高校に「観光コース」を設けて欲しいといわれた当時の産業関係者の言葉でした。ところが、この素案を読んでいると「観光に関わる」という一部の企業関係者を視野に於いて作文されているように感じます。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>パブリックコメントに際し、資料の全てをご提示することができず、申し訳ございません。施策「15) 観光地力の底上げ」の「10代から20代の若い世代との連携による人材育成」により地元高校生を含む若者との連携に取組んでまいります。</p>
16	F	30	<p>「観光のまちづくり」戦略</p>	<p>従来の観光概論に沿った戦略構想を記述されているだけである。「観光資源」に対する視点が示されていない。この島の「観光資源」はどのようにして保全されてきたのか、その重要な原点を議論されてきたのか、議論されてきたのなら、それを示してほしいものです。</p> <p>すなわち「観光資源の原点」は第一次産業です。農林水産業が、この島の自然環境を育ててきたものであり、生活していく人々の命を育ててきたものであり、豊かな文化を守り継承してきたものです。</p> <p>「観せる」観光から「観たい」と思わせる観光のあり方によって変わっていくことが、これからは重要だと思います。第一次産業を支える第二次産業、つまり農林水産の生産・加工現場を技術的に支える第二次産業の労働環境や担い手育成、これらがしっかりと連携できて第3次産業としてのサービス観光業が魅力あるものとして「観たい」「行きたい」「ふれあいたい」と価値の高い「総合産業として協働観光のまち」として、島外の人々に魅力を認められるものと思います。他所にある観光地等の後追いするような観光計画では、流行倒れをしかねないものと思います。</p>	<p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>自然との共生を図り、市民が観光立市であることに誇りを感じられるまちづくりを目指し、本計画に基づき設置される「(仮称) 観光まちづくり協議会」等において、検討してまいります。</p>

17	F	36	基本施策	「観せる」観光の視点で施策を並べられているので、石垣島6次産業化という総合産業としての観光施策として練り直して欲しいと願います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 施策「6）地域特性を活かした新たな魅力の掘り起こし」、「9）地域と観光の循環的発展の促進」、「11）変化に即応したビジネスモデルへの転換」により総合産業としての展開を図ってまいります。
18	F		全体を通して	今回の「素案」に対するパブリックコメント募集期間が、とても短く、しかも新聞告知から一週間で締め切るなんて、多くの市民から意見を募りたいという意志が弱いように思います。「観光は総合産業」という視点に立てば、多くの市民論議を求める機会をつくり、一次産業、二次産業、三次産業はじめ、高校生、特に商工高の観光コースの生徒は、将来の石垣島観光リーダーとして育成を目指しているところなので、そこを取り込んだ議論を尽くして計画の策定を進めて欲しいと願います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 パブリックコメントは2月7日から2月25日までの3週間実施しました。市HPでの公表のほか、市役所市政情報センター、市観光文化課、市立図書館、市健康福祉センターにおいて、資料一式を設置し意見を募集しました。また、2月8日、2月22日の2回、本市公式LINE及びFaceBookにて周知を図り、2月9日の地元紙にパブリックコメント開始の記事掲載をしていただいています。
19	G		新市役所利用について	これまでの期日前投票開場が、新庁舎になり嬉しく思っています。食堂もきれいで将来の利用拡大についての希望ですが、庁舎内でイベントをたくさんすることや観光名所の1つにして、観光バスを市役所前に駐車し、昼食やコーヒータイムに利用すれば売り上げ拡大になると思います。市民は用がある時しか市役所には出向きません。芸能イベントもホールで催してほしいです。コンサート会場として、土、日曜日に活用する。その時は食堂をオープンにすると売り上げアップの助けになるでしょう。石垣市のPRをじゃんじゃんしていきましょう。そして、石垣市に住んでみたいと思ってもらいましょう。市長に期待しています。よろしく願います。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 市役所利用については、担当部署と情報共有し、検討してまいります。